

平成23年度  
実施事業

事務事業名 若年者等キャリアカウンセリング試行事業費

区分	No	名称					
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち					
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる					
施策	4	雇用と就業環境づくりの推進					
小分類	1	生涯を通して働ける環境づくり					
主要な施策	1	若年者の就業支援					
事務事業番号	002	事業開始年度	平成 23 年度	事業終了年度	平成 - 年度	会計種別	一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、就職活動等において抱える不安や悩みなどを解消し、労働観や職業観の醸成を図ることにより、自主的・積極的に就職活動等できるよう支援することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	キャリアカウンセラーを設置し、若年者や未就職卒業者等が、就職活動等で抱える不安や悩みなどについて、個別の相談や助言などを行いながら、労働観や職業観の醸成を図るほか、就職活動に向けた実践的なセミナー等により支援した。(平成23年8月1日事業開始) 【事業実績】 ・キャリアカウンセリング登録者数 15人(うち3人が就職決定) " 延べ回数 58回(学校訪問による実施含む) ・キャリア形成セミナー等の実施 3回
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	市内の経済情勢や企業情報に詳しい団体に委託し、登録者や就職決定者の人数や相談件数のほか、アンケート等の実施や事業の周知に努めながら、潜在的なニーズの発掘や同事業の必要性について検証する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		2,654	3,984		
事業費合計			0	2,654	3,984	0	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	キャリアカウンセリング延べ回数	回	目標値			100		
			実績値		58			
	キャリア形成セミナー等実施回数	回	目標値			6		
			実績値		3			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>相談日数 月・木曜日の週2日（月曜日は企業・学校訪問も実施）</p> <p>相談場所 登別市地域情報センターPIP内、市内高校等</p> <p>事業周知 ポスター掲示やチラシの配布、ホームページ掲載により周知</p>	<p>相談日数を水・金・土曜日の週3回とするほか、昼間の時間帯で相談が不可能な場合はについては、事前協議により夜間も実施。</p> <p>相談場所は登別職業訓練協会内で実施するほか、土曜日については、登別市地域職業相談室「ジョブガイドのまりべつ」において実施</p> <p>事業内容等周知とともに、「キャリアカウンセリング」について理解してもらうため、委託先事業所と協議し周知する。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 経済圏や就業圏域を同じくする室蘭市においても同様な事業を実施しており、広域的に実施が可能である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 若年者等の未就職者や早期離職者が増加傾向にあるほか、就職活動において抱える不安により再就職等の活動ができない人が増えているため、同事業を実施して不安の解消等の支援が必要である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 有資格者の活用等が必要となるため、市が直接実施することが困難であることから、多額の経費や労力を要するがやむを得ない。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 H23年度途中から試行的に実施している事業であるため、通年の潜在ニーズの把握ができないことや相談効果による就職決定等の把握ができない。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	同事業は、平成23年度8月より試行的に実施したが、通年の潜在的ニーズが把握しきれなかったことから、24年度においても試行的に実施してニーズの有無や事業の必要性について検証が必要である。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----